

令和6年度中越支部ふれあい研修会

令和6年12月7日(土)、ハイブ長岡にて中越支部ふれあい研修会を開催いたしましたのでご報告いたします。研修会では「性感染症の臨床検査」をテーマに講師の先生方よりご講演いただきました。当日は32名の方にご参加いただきました。

【講演1】梅毒感染症検査と診断について

講師：デンカ株式会社 小林 亘 様

1つ目の講演は梅毒感染症についてでした。梅毒は梅毒トレポネーマを抗原とした感染症で、性感染症の代表的な疾患の一つです。

講演では梅毒トレポネーマ抗体検査(TPAb)と非トレポネーマ抗体検査(RPR)のそれぞれの検査法の違いについて、TPAbとRPRを組み合わせた血清学的検査の重要性について、検査結果の解釈についてなど、検査をするうえで重要なポイントを解説いただきました。特に結果の解釈においては、様々な要因で偽陽性、偽陰性、偽高値となることを考慮して判定する必要があります。また感染してからの経過状態によっては、TPAbとRPRで判定が異なる場合もあり、注意が必要です。正確な診断を得るためには期間を設け、複数回検査をして抗体値の経過をみるのが大切であると学びました。

梅毒は男女ともに届出数が急増している疾患であり、今後はさらに知識が求められます。今回学んだことを日常業務でも活かしていきたいと感じました。

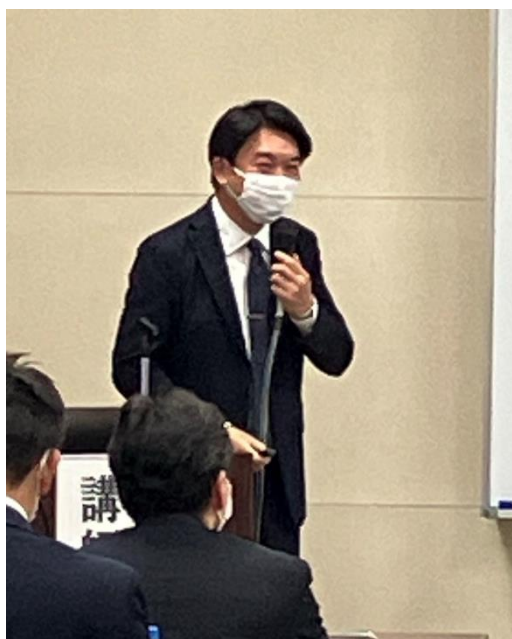


【講演2】 GeneXpert システムによる淋菌・クラミジア検査の概要

講師：ベックマン・コールター株式会社 セフィエド事業部

堂浦 照也 様

2つ目の講演は淋菌、クラミジア感染症の概要、GeneXpert システムのご紹介でした。淋菌・クラミジア感染症の共通の問題点として、感染後も2週間程度は無自覚・無症状の場合が多い点、感染に気付かずパートナー等に感染させてしまう(ピンポン感染)リスクが高い点、不妊症や母子感染など生殖機能に深刻な影響を与える危険性がある点などが挙げられることを学びました。また、患者数は世界的に増加傾向であり、今後はより感染拡大を抑制することが求められます。講演でご紹介いただいた GeneXpert システムは、従来のPCR 検査と比較しより迅速で簡便に検査ができるため、このような性感染症の抑制につながると感じました。



性感染症は世界で 100 万人以上の人々が感染しており、推定で 3 億 5700 万人がクラミジア感染症、淋菌感染症、梅毒、トリコモナス症の 4 種類の感染症の何れかに感染しているとされています。今回ご講演いただいた内容は、改めて今後臨床検査技師として働くうえで知っておかなくてはならない分野であると感じました。

今回ご講演いただいた先生方には、この場をお借りしてお礼申し上げます。
ありがとうございました。

第36回 糖尿病をしるつどい

令和6年12月22日(日)、長岡リリックホールにて第36回糖尿病を知りつどいに参加しましたのでご報告いたします。今回のテーマは「冬の糖尿病対策～食事と運動に気を付けて、冬を楽しく乗り切ろう～」です。

当日会場内のシアターでは糖尿病をテーマにした講演、座談会があり、シアターの外ホワイエでは食品見本展示、血糖測定、歯科指導、セルフケア指導などの催しがありました。中越支部では簡易血糖測定を実施し、当日の来場者は80名、参加会員は9名でした。

当日は雪が降ったり止んだりを繰り返して天気が安定せず足元も悪い中でしたが、多くの方が来場してくださいました。簡易血糖測定に参加してくださった方々は、健康に対する意識が高い方が多いと感じました。

今回のイベントを通して、少しでも参加されたみなさまの糖尿病、ひいては健康に対する興味、関心につながれば幸いです。

▼測定の様子



指から少量の血液を採取し、簡易的なキットで測定を行います。結果がすぐに出るため、その場で結果を伝えることができます。当日は糖尿病療養指導士(CDEJ)の方も参加し、結果の解説やアドバイスができました。



(文責：JA 厚生連 長岡中央総合病院 石井唯奈・長谷川雄也)